



・発行日
53・2・21
・発行
岡崎市AVL
・編集
広報委員会

岡崎のビデオ作品五点が入賞

— 県自作視聴覚教材コンクールで —

本年度も県下から多くの作品が出されましたが岡崎市からは、次の作品が見事に入賞しました。

〈優秀賞〉

・ Joyful English (中一英・18分30秒)

“What color is this?”

現職教育英語部視聴覚サークル

〈努力賞〉

・ 「いちご作り」 (小三社・11分10秒)

岡崎市視聴覚ライブラリー自作委

・ 「上水道」 (小三社・13分30秒)

岡崎市視聴覚ライブラリー自作委

〈佳作〉

・ 「新しい校舎」 (小三社・8分)

岡崎市視聴覚ライブラリー自作委

・ 「馬頭原怪石のなぞ」 (小五理・14分30秒)
現職教育理科部地学サークル

一方、「自作OHP・ITP作品」(県教育サービスセンター応募)では、十七名の先生方の作品が入賞しました。この中には新任の先生五人が含まれています。

〈入選〉

・ 本多 有三 (三島小) 理科六年

・ 矢作北小学校理科部 理科四 六年

・ 佐々木俊輔 (城北中) 社会一年

・ 井上 耕一 (美川中) 数学三年

・ 平岩 浩文 (美川中) 理科一年

・ 中村 巖 (葵 中) 技術三年

〈佳作〉 大日川和子(福岡小)先生はじめ十一名の方が選ばれました。

「ジョイフル イングリッシュ」の制作

英語部視聴覚サークル 加藤忠彦

中学校へ入学した当初の一年生は、英語学習に大きな興味を持ち意欲的でもある。しかし、学年が進み、学習が進むにつれて、学力差も大きくな

ってくる。

特に中、下位生徒の指導に効果を期待したのがTVの英語番組の活用である。中でも、聞くことの力を高めるため（英文の聞きとりではなく、全体的把握）に三年前から積極的に活用している。NⅡⅤの番組だけでなく、自作のビデオの活用も大変効果的である。生徒の実態と教師の考えを生かしたジョイフル・イングリッシュは、NⅡⅤ番組とは、ちがった意味での効果も期待できる。この作品づくりには、現職教育英語部自作サークルとライブラリー自作委員会とが協力し合つてすでに八本の作品の完成をみた。多くの学校での活用を願っている。

学校だより

全教室にカラーテレビが入る

岡崎小学校

「ワー、きれいだな。」
「はつきりして、よく見えるね。」
テレビ学習をしている教室から、子どもたちの喜びの声が続いてくる。

本校は、昨年四月新校舎建設に伴い現在地に全面移転したが新しい施設の中で教室のテレビだけ

は、以前からの中古の白黒テレビしかなかった。

家庭でカラーテレビを見なれてきた子どもたちにとつては、何かもの足りないものが多かった。

それを見たPTAのご援助により、本年度全教室に二一型カラーテレビが置かれるようになった。

美しい画面を見ながら、子どもたちは意欲的に放送学習にとりくめるようになった。

現職教育でも放送学習の研究授業を行い、子どもの意欲を高める効果的な放送学習のあり方を目ざした実践活動を進めている。

また、OHPも一教室に一台置かれ、全職員が常に授業に利用して学習効果を高めている。

来年度はテレビカメラを入れて、自作番組の作製や、テレビ校内放送ができるようになるという希望をもっている。

（磯谷記）

ライブラリーだより

優秀作品のAVL保管

今年度も数多くの優秀なTP。ビデオ作品、論文等が先生方の手により作成されました。広く活用していただくため、入選作品をお借りし保管致したいと思えます。（コピー又は原本）入賞者のご協力と多くの方々の活用をお願いします。